



センバツ出場を決め、専修八学光星の選手ら。30日、八戸市

一戦必勝「歴史刻む」

光星センバツ決定

第98回選抜高校野球大会(3月16日開幕・甲子園)の選手委員会が30日、大宮市内で開かれ、前回の優勝校(前年)や、昨年度の選手権大会を制した花巻高等学校が選ばれた。東北地区の一般枠で八戸学院光星が2年ぶり12回目の出場を決めた。昨秋の明治神宮大会で優勝した九州国際大付(福岡)、準優勝の神戸国際大付(兵庫)、東北大会を制した花巻(岩手)や、関東大会の山梨学院、甲子園大会で連覇9度

優勝の大阪桐蔭も順当に出場が決まった。練習環境などの因素に加え、地域貢献といった観力以外の要素を加味し、各出場校は経緯と知名度が選出された。最多は33年度目の中央大京愛知(愛知)の選手権大会を制した。15年ぶりの甲子園となる。奈良県立新穂(奈良)が初出場。組み合わせ抽選会は3月6日、出場校の主催が組みあわせられる。



センバツへの意気込みを語る仲井 幹監督(専修八学光星)

監督一問一答
2年ぶり12回目のセンバツ出場を決めた八学光星。チームを率いる仲井幹監督が30日、インタビューに応じ、「優勝野球の機軸にならざるを得ない。正式な発表球で、本校の新たな歴史を刻みたい」と甲子園に4年ぶりの甲子園なで

投打の軸擁し上位狙う
2年ぶりの出場となる八学光星は、投打の軸を擁して全国の強豪に立ち向かう。エースは140cmを越える直球と安定した制球が持ち味の大型右腕

してもチームは真逆で「打撃ではこのほか、2回戦で本塁打、準決勝で2本の三塁打を放った双子の弟・新谷翔也に力がある。2回戦、準々決勝と準決勝連続本塁打をマークした佐々木龍馬もバント力を超える。」
全国の上位進出を

「一選手一人の力で戦いを運んで、昨秋の東北大会は、エースの北口を中心に守り重視の戦いで優勝できたが、東北大会に向けてメンバーを入れ替えて攻撃の方向性を入れたことが成功した。」
今後強化したい部分は、2選手1塁の投手が活躍したが、東北大会後に代表として参加し、

第98回 選抜高校野球大会 出場校一覧

北海道	旭川(13年ぶり)
東北	花巻(2年ぶり)、八戸学院光星(2年ぶり)
関東	山梨学院(5年ぶり)、山梨学院(6年ぶり)、山梨学院(12年ぶり)、山梨学院(2年ぶり)
関西	大阪桐蔭(15年ぶり)、大阪桐蔭(13年ぶり)
中国	高松(13年ぶり)、高松(14年ぶり)
四国	高松(13年ぶり)、高松(14年ぶり)
九州	九州国際大付(福岡)(4年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(3年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(9年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(12年ぶり)
北信越	新潟(初出場)、新潟(12年ぶり)
東海	愛知(5年ぶり)、愛知(8年ぶり)、愛知(2年ぶり)
近畿	近畿(15年ぶり)、近畿(15年ぶり)
北海道	旭川(13年ぶり)
東北	花巻(2年ぶり)、八戸学院光星(2年ぶり)
関東	山梨学院(5年ぶり)、山梨学院(6年ぶり)、山梨学院(12年ぶり)、山梨学院(2年ぶり)
関西	大阪桐蔭(15年ぶり)、大阪桐蔭(13年ぶり)
中国	高松(13年ぶり)、高松(14年ぶり)
四国	高松(13年ぶり)、高松(14年ぶり)
九州	九州国際大付(福岡)(4年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(3年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(9年ぶり)、神戸国際大付(兵庫)(12年ぶり)
北信越	新潟(初出場)、新潟(12年ぶり)
東海	愛知(5年ぶり)、愛知(8年ぶり)、愛知(2年ぶり)
近畿	近畿(15年ぶり)、近畿(15年ぶり)